

会告

「京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書」について

本簡学会では、建設省（現国土交通省）により京奈和自動車道の和北大道路のルートの一つとして平城宮跡の地下をトンネルで通過する案が検討され、そのためのボーリング調査が平城宮及びその周辺で実施されているという事態を憂慮し、本簡の保存・活用を図るという本学会の趣旨から、本簡にとつて致命的な影響を与えかねないこの計画の即時撤回を求める声明案を、二〇〇〇年六月九日、委員会声明の形で発表した。それと同時に関係諸学会にも要望書の写しを送付し、同様の取り組みを行なうよう要請したところ、幸い多くの学会の賛同を得ることができ、あいついで平城宮跡地下通過計画に反対する声明が出されるに至っている。

その後、二〇〇〇年二月四日、本簡学会第二二回総会・研究集会を開催するにあたり、会員の総意として総会決議を行ない、改めて京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書を採択し、関係各機関に送付した。

これまでに同様の声明を出した学会などは、以下の通り多数に上っている（順不同）。日本史研究会・日本歴史学協会・京都民科歴史部会・奈良県歴史教育者協議会・歴史教育者協議会・歴史学研究会・考古学研究会・日本考古学協会・古代交通研究会・名古

屋歴史科学研究会・大阪歴史学会・歴史科学協議会・史学会・奈良文化財研究所職員組合など。

現在も平城宮内外の六カ所でボーリング調査が継続して行なわれており、また、二〇〇一年七月には国土交通省奈良国道工事務所が専門家による地下水検討会を発足させ、道路建設の地下水への影響を検討するに至っている。運動は大きな盛り上がりを見せる一方、この問題は重要な局面を迎えつつあり、遠くない将来に予想されるルート決定に向けて事態は予断を許さず、なお粘り強い運動の展開が求められているのが現状である。以下に、総会決議の全文を掲載する。

京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書

私たち本簡学会では、去る六月九日、世界遺産・特別史跡平城宮跡の地下にトンネルを掘って京奈和自動車道を通す計画に対し、本簡と平城宮・京跡の保存の観点から、極めて憂慮すべき事態であると認識し、その即時撤回を求める要望書を、当学会委員会名で採択した。そしてこの要望書を建設大臣・文部大臣・文化庁長官・建設省近畿地方建設局長・同奈良国道工事事務所長宛送付し、さらに歴史学・考古学・地理学・建築史・庭園史など関係分野の諸学会にも、トンネル計画から平城宮・京跡を守る運動を広汎に

展開することを呼びかけた。

幸いにもこの私たちの呼びかけは、多くの学会の賛同を得ることができ、これまでに十指に余る学会が計画撤回を求める要望書を出し、その動きはさらに広まりつつある。また、奈良市文化財保護審議会が、自動車道の平城宮跡内通過は容認しがたいとする上申書を奈良市長に提出したことも、特筆に値しよう。

しかしながら、このようなトンネル計画反対の世論の盛り上がりとは裏腹に、計画変更の動きは何ら伝えられて来ない。建設省奈良国道工事事務所では、平城宮跡地下トンネル計画は京奈和自動車道通過ルートの一案に過ぎないとするが、そのための平城宮・京内における一九九七年以来の地下ボーリング調査は現在なお予定通り進行中であり、宮・京跡通過が既成事実化される懸念が大きい。世界遺産・特別史跡内に、地上・地下はどうあれ高速道路を通そうと発想すること自体が、平城宮跡を「危険にさらされている世界遺産一覧表」に記載させざるを得ないような行為である。

昨年度から今年度にかけて奈良国立文化財研究所などが実施した平城宮跡内外の発掘調査でも、五百点を超える木簡が出土している。豊富な地下水に守られ日光と空気から遮断されるという好条件が保たれれば、平城宮・京跡のどこからでも木簡が出土するのは、もはや周知の事実である。地下トンネルは地下水脈を変化させ、千二百年以上にわたって保存されてきた木簡に重大な影響

を及ぼしかねない。私たちは、このような無限の可能性を秘めた歴史資料の存在を無視し、さらに遺跡そのものの存立をも揺るがしかねない地下トンネル計画を、断じて認めがたい。

こうした状況に鑑み、私たち木簡学会では第二回研究集会を開催するにあたり、会員の総意として改めて以下の要望を決議するとともに、関係各位・各機関の誠意ある対応を切に希望するものである。

木簡を初めとする地下に眠る貴重な歴史資料を破壊し、世界遺産・特別史跡平城宮跡、及び平城京跡の保存に重大な影響を及ぼす京奈和自動車道の平城宮跡地下トンネル計画を、直ちに白紙撤回すること

二〇〇〇年二月二日

木簡学会

建設大臣	扇 千景様
文部大臣	大島 理森様
文化庁長官	佐々木 正峰様
建設省近畿地方建設局長	藤 芳 素 生様
同奈良国道工事事務所長	小 口 浩 様
奈良県知事	柿 本 善 也様
奈良市長	大川 靖 則様